

訓練を利用した方の声

○ 一般社団法人奈良経済産業協会 様

【団体概要】 : 平成24年に、製造業を中心とした社団法人奈良工業と経営・労務問題を扱う奈良県経営者協会が統合して社団法人奈良経済産業協会としてスタート、翌年に一般社団法人奈良経済産業協会に変更しました。

○事業目的 : 産業構造の変化に柔軟に対応しつつ、会員企業の発展と奈良県経済・産業の振興を図り地域社会の発展を目指しています。具体的な事業としては、1) 調査研究事業、2) 人材育成事業、3) 情報交流事業、他4事業を遂行するため、総務委員会、人材育成委員会、モノづくり委員会、他2委員会を置き活動を行っています。

【訓練内容】

○コース名 : 生産性向上支援訓練【原価管理とコストダウン】

○カリキュラム

学科9時間 : 1) 原価管理とは、2) コスト削減、3) IE手法による標準時間設定方法

演習9時間 : 「コスト削減と業務の効率化（実際の職場で実施できる改善策）」をテーマにしたケーススタディ及びグループワーク

○受講者数 : 19名（企業数14社）



利用者の声

○この訓練を利用したきっかけは？

働き方改革での長時間労働の削減や人材不足への対応、競争力の強化等には、仕事の進め方・業務内容の見直し改善を図ることで、生産性を向上させる以外に解決の方法はなく、生産性向上の取組は業種・業態に関係なく喫緊の経営課題です。

○利用した感想は？

今般、企業が欲している生産性向上への支援が事業化されたことは大変有難く、会員企業の課題解決に向けて、当会としても積極的に活用させて頂きました。

受講企業からも具体的な改善への参考になったとの声を頂き、当初の期待の通り大変有効であったと喜んでます。

幅広い視点でテーマ化されており、業種や職種に合った具体的な生産性向上のテーマを今後も活用させていただきたいと考えます。（平成29年度事業取組団体の認定）



受講者の声

<受講後のアンケートより抜粋した受講者の主な意見・感想>

役立度：大変役に立ったが（12.5%）、役に立ったが（87.5%）の回答でした。

理由は：課題の解決につなげることができる（75.0%）、生産性の向上や業務に役立てることができる（68.8%）が主な理由として回答されています。

主な意見：①生産性の向上に対する取り組み方の基本がわかった。②原価意識を持って業務をすること、品質要求・品質向上とコスト意識が習得できた。③8つの無駄を現場で見つけて、生産効率向上につなげる。IE手法をもとに現場の分析をする。④生産性向上に関する改善の切り口を具体的に学べた、また、その伝達・指導の基本知識がついた。⑤迷っていたところがクリアになり、考え方がまとまった。⑥さらに具体的な事例や事案を掘り下げた訓練を希望します・・・などの意見を頂きました。

※上記のほか、企業・団体の生産性向上に関する様々な課題の解決や現場力の強化に関するカリキュラムをご用意しています。

○人材開発支援助成金のご案内

生産性向上支援訓練に従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることが出来ます。

※助成金の利用には、訓練対象者の職務と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であることなど一定の条件がありますので、詳しくは生産性センターにお問い合わせいただくか、以下のホームページをご確認ください。

●人材開発支援助成金のご案内（厚生労働省ホームページ）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html